

令和 7 年 1 2 月定例会

福祉環境委員会における部長説明要旨

令和 7 年 1 2 月 1 6 日（火）

第 2 委 員 会 室

環 境 生 活 部

環境生活部長の湯川でございます。

委員の皆様方には、日頃から環境生活行政の推進に格別の御理解と御指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

それでは、環境生活部における最近の主な取組について、御説明いたします。

まず、環境意識の啓発につきましては、こどもたちやその保護者の方々が「気候変動・資源循環等」をテーマに、環境について体験しながら楽しく学べるイベント「おもしろ環境まつり」を12月20日に、海南nobinos等で開催いたします。

次に、地球温暖化対策につきましては、県民の皆様は、気候変動の現状や脱炭素の必要性を「自分ごと」として捉えていただくため、脱炭素につながる商品を購入した場合などにポイントを上乗せするキャンペーン「わかやま CO₂ CO₂ ポイント+（プラス）」を本年10月1日から12月28日まで実施しております。

次に、ツキノワグマへの対応につきましては、昨年度実施した生息数調査の結果を受け、「第二種特定鳥獣管理計画」を本年10月に策定し、これまでの保護政策から管理政策へ転換いたしました。引き続き、県内市町村や関係団体、三重県、奈良県とも緊密に連携し、県民の安心・安全の確保を最優先に、実効性のある取組を進めてまいります。

なお、人の生活圏への出没に備え、本年9月1日から実施可能となった緊急銃猟が各市町村において円滑に実施で

きるよう、環境省、県、市、警察、猟友会が一堂に会した机上訓練を、本県としては初めて12月24日に田辺市で実施することとしております。

次に、食品ロス削減対策につきましては、10月の食品ロス削減月間に県庁フードドライブを実施し、集まった食材を県内31か所のこども食堂に提供しました。

また、10月26日に食品ロス削減をテーマとした講演会を開催し、123名の方にご参加いただいたところです。

さらに、家庭でできる食品ロスを減らす工夫についての啓発動画を制作し、SNSで公開するなど、県民の皆様に具体的な行動を促すための広報・啓発に取り組みました。

次に、安全・安心な暮らしを守る施策につきましては、

12月1日から10日まで、わかやま冬の交通安全運動を実施し、飲酒運転の根絶や高齢者の交通事故防止などを重点的に呼びかけたところです。

次に、食の安全・安心につきましては、

ノロウイルスによる食中毒を防止するため、県民の友やラジオ放送に加え、こども食堂へのチラシ配布など、広く食中毒予防の注意喚起を行うとともに、11月23日に開催された「紀の川市産業まつり・食育フェア」において、手洗い教室やアンケート調査等を通じ、食品衛生の確保及び向上に取り組みました。

次に、動物愛護の推進につきましては、命の大切さを学び、豊かな心を育むため、小学生を対象とした動物愛護教室を実施し、11月末現在で24校986人の児童にご参加いただ

きました。今後も関係機関と連携し、動物愛護精神の高揚を図ってまいります。

続きまして、本定例会に御審議をお願いしております議案についてご説明いたします。

まず、議案書の1頁をお開きください。
議案第146号「令和7年度和歌山県一般会計補正予算」につきましては、県人事委員会勧告に基づく給与改定等に伴い、第2款「総務費」、第4款「衛生費」において、人件費の所要額をそれぞれ計上しています。

以上で、今議会に提出しております議案の説明を終わります。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。